

1 コート

コートサイズは競技方法や会場の広さによって決定する。

2 ボール

4号球を使用、空気圧は0.5 ~ 0.6kg/c m²で主催者が用意したものを使用する。

3 チーム

(1)一チームは競技グラウンド内にいる5名のプレーヤーと入替可能な2名以上5名以下のプレーヤーから成る。

①コーチは各試合において、後半開始時まで登録選手を必ず全員出場させること。これに反する場合、相手チームの不戦勝とする。

②負傷、疾病が続き、出場可能なプレーヤーが4名以下になった場合、相手チームの不戦勝とする。
試合開始時、試合に必要なプレーヤー及び帯同コーチが揃わない場合、相手チームの不戦勝とする。

(2) 帯同コーチは成人2名とする（そのうち1名は、他のチーム同士の試合のアシスタントレフリーが務められること）。コーチは試合中に次のことができる。

①負傷者の救助等でレフリーの指示があった場合に競技グラウンド内に入ること。

②グラウンドサイドの主催者が指定する位置で、チームプレーヤーへの教育的かつ建設的助言を行うこと。

③グラウンドサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの入れ替えに関する管理を行うこと。

④ハーフタイムに競技グラウンド内に入り、プレーヤーに指示を与えること。

⑤グラウンドサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの健康、安全管理を行うこと。

(3) 帯同コーチは大会期間中の選手、自チーム応援者の言動について一切の責任を負う。これができない場合、警告以上の処分が与えられる。

(4) レフリー、アシスタントレフリー、競技役員はチーム、帯同コーチ、観客の言動が悪質な妨害行為にあたりと判断した場合、警告以上の処分を科すことができる。

4 プレーヤーの服装

(1) プレーヤーの服装については以下の通りとする。

①運動に適した服装（学校体操着など）で、靴は運動靴（ゴム底で滑りにくいもの）とする。

②タグ・タグベルト・ビブス。タグは日本協会規定サイズ（50 mm× 375 mm）。タグ、タグベルト、ビブスともに、主催者が用意する。

(2) プレーヤーは以下のものを着用することができる。

①髪留め（ゴム製）

②めがね（試合中に脱落しないよう、固定すること。万が一の接触に備えて、強化プラスチック製のものを着用することが望ましい）

(3) 以下の物については着用を認めない。

①手袋（タグの色と紛らわしいため。また、着用の有無による利益不利益をなくすため）

②ギブス等医療装具（着用しないとプレーできない場合は出場させるべきではないから）

③その他、タグラグビーをプレーする上で必要ない物

5 選手の入替え

- (1) 入替は以下の時に何度でも可。
 - ①ポイント（トライ）後
 - ②ハーフタイム開始時
 - ③負傷でゲームが中断した時
- (2) 入替は帯同コーチがレフリーに申し出、レフリーが承認して成立する。入れ替えが行われている間、試合は再開しない（時間は継続）。入れ替えを行うチームは速やかに実施できるよう準備する。
- (3) 負傷により退場したプレーヤーがその試合に戻ることはできるが、出血している状態で戻ることはできない。

6 試合時間

試合時間は競技方法により後日決定、参加チームに通知する。前半と後半でコートチェンジを行う。

7 レフリー

- (1) レフリー1名 アシスタントレフリー2名とする、
- (2) レフリー及びアシスタントレフリー1名は主催者が指名する。アシスタントレフリー1名については、全参加チームの帯同コーチの中から主催者が指名する。
- (3) レフリーはグラウンド内で判定を行う。
- (4) アシスタントレフリーはタッチライン沿いで以下を行う。
 - ①レフリーの判定の補佐。
 - ②選手の入替えの補佐。
 - ③負傷者のための試合停止の要請。
 - ④帯同コーチ・観客の悪質な妨害行為のレフリーへの報告。
- (6) レフリーはその試合における唯一の事実の判定者であり、レフリーに対して抗議することは認められない。
- (7) レフリーは以下の場合に試合を停止することができる。2試合同時進行の場合にはできるだけ試合を停止しないで速やかに処理を行う。
 - ①プレーヤーが負傷し起きあがれない場合。メディカルサポーターからの要請による場合も同様とする。
 - ②プレーヤー、帯同コーチ、観客に注意を与える場合。レフリーが、以上の理由で試合を停止した場合、再開は停止を命じた時点でボールを保持していた側のフリーパスとする（タグの回数は継続）。競技時間を停止する場合、レフリーは明確な方法で試合時間の管理者に伝達する。2試合同時進行の場合において試合を停止するときは、2試合とも同時に試合を停止、再開する。

8 メディカルサポーター

- (1) メディカルサポーターは主催者が任命し、自らの判断でレフリーの許可を得ずに競技グラウンド内に入ることができる。
- (2) メディカルサポーターは負傷者が試合に参加できないと判断した場合に限りレフリーに試合停止を要請できる。

9 試合中の飲水

プレーヤーはハーフタイムには、サイドチェンジを行った後にチームから飲水を行える。ただし、ハーフタイムに自チームのベンチに戻ることはできない。プレーヤーは後半開始時には競技再開ができる位置にいないといけない。レフリーは、チームの行為が遅延行為にあたりと判断した場合、相手側のフリーパスによる再開を行う。

10 試合時間の管理と試合の記録

- (1) 試合時間の管理(計時係)及び試合の記録(記録係)を行う者は主催者が任命する。
- (2) 試合時間を管理するものは、レフリーの合図により試合時間の進行を止めることができる。

11 試合終了(ノーサイド)

試合終了(ノーサイド)はプレーの切れ目ではなく時間によって区切られる。試合開始と終了の合図は計時係によって行われる。ロスタイムは設けない。

12 試合の勝敗について

ノーサイドの時点で得点数の多いチームを勝者とする。同点の場合に延長戦を行うかどうかは試合方法により別途定める。